

自主防災組織等の活性化事業（静岡県）

■研修会等の開催

静岡県では、毎年県内の自主防災組織関係者が参加し、「自主防災活動推進大会」を開催し、自主防災活動に尽力した団体・個人の表彰のほか、東海地震対策や地域防災力の強化に向けた講演やパネルディスカッションなどが行われている。

また、自主防災組織中核リーダー研修会（一泊二日の研修）も行われている。

■地域防災指導員の養成と活用

自主防災組織の活性化を図るため、地域防災活動をきめ細かに指導できる「地域防災指導員」の養成を進めている。

とくに、養成にあたっては、災害図上訓練等の訓練手法の習得を目的とした研修を実施し、自主防災組織での普及促進による地域防災力の強化と底上げを図る。

■「自主防災」（広報紙）の発行

県民の防災意識の高揚を図るために、年4回発行。各種防災対策や各地の自主防災組織の活動の紹介、研修会・シンポジウム等の広報を行っている。



自然ガイド養成講座の事例

■伊東自然・歴史案内人養成講座

豆 新聞

平成17年(2005年)4月24日 (日曜日) 日刊

目指せ伊東の「案内人」



市主催養成講座

143人参加し説明会など活動計画

火山に関する基調講演も

伊東市が主催する「平成17年度伊東自然・歴史案内人養成講座」のオリエンテーションと基調講演会が二十三日、市役所で開かれた。約四十三人の市民が参加し、初めて実施される同養成講座のスタートを前に、講座の内容や案内人の活動計画などについて熱心に耳を傾けた。

伊東市が主催する「平成17年度伊東自然・歴史案内人養成講座」のオリエンテーションと基調講演会が二十三日、市役所で開かれた。約四十三人の市民が参加し、初めて実施される同養成講座のスタートを前に、講座の内容や案内人の活動計画などについて熱心に耳を傾けた。

伊東カントリー

伊東市立の伊東カントリークリフの風力発電設備

風車の撤去始まる

撤去作業が二十三日、三枚羽根を取り外す撤去作業は千七日まで

伊豆新聞

日曜版

伊豆新聞本社
伊東市駿田1290-6
〒414-0054

電話0557(36)123
FAX0557(36)3969
FAX0557(36)2691

伊豆支社
電話03(3571)7240

<http://www.izu-np.co.jp>

こたわってまき
伊豆太郎

●赤井・丸介料理・各店舗
伊東マリントウン店
0557-35-5550

●旅館部門
川奈店
0557-45-5234

●旅館部門
下田駅前店
0558-27-2700
E-MAIL: info@kotaro.co.jp

平成17年度 伊東自然・歴史案内人養成講座 参加者募集

伊東市にある豊かな自然と歴史的文化遺産の紹介や解説ができる案内人の養成を目指した講座を開設します。

「花と海といで湯の街・伊東温泉」の案内人として、自然系・歴史系の専門的な知識のほか、「まちを愛する心」や「もてなしの心」を大切にして、市民や観光客の方々との交流を楽しみたい方をお待ちしています。

◆オリエンテーション・基調講演会を開催します◆

案内人養成講座に参加を希望する方は、必ず出席してください。

日 時 平成17年4月23日(土)午後2時から

場 所 市役所8階大会議室

内 容

①オリエンテーション

- ・自然歴史案内人養成講座の内容、申込方法などについて
- ・今後の自然歴史案内人の活動について

②基調講演 一般聴講できます

- ・講 師 小山真人(静岡大学教育学部総合科学教室、伊東市史編集委員)
- ・テーマ 火山がつくった伊東の大地と自然
—火山の恵みを生かす文化構築の提案—



◆案内人養成講座募集要項◆

○募集対象 伊東が好き、伊東をもっと知りたい、そして「案内人」としてお客様をもてなしたいという方を募集します。
原則として、希望する自然系・歴史系のいずれかの講座にすべて参加できる方とします。

○参加申込 申込書を伊東市観光課まで提出してください。(郵送又はFAXでも構いません。)

○受講料 1講座につき500円(現地講座での交通費、弁当代などは個人負担となります。)

○募集期間 3月25日(金)～4月25日(月)

※4月23日開催のオリエンテーションには必ず出席してください。

◆問い合わせ・申し込み先◆

伊東市観光課「自然・歴史案内人養成講座」担当

〒414-8555 伊東市大原二丁目1番1号

TEL. 0557-36-0111(内線2714) FAX. 0557-38-2867

案内人養成講座の紹介

開設日時、テーマ等の詳細については、オリエンテーションでお知らせします。
講座は共通講座(年4回)、自然系(年8回)、歴史系(年8回)を毎月1~2回づつ
土曜日の開催を予定しています。

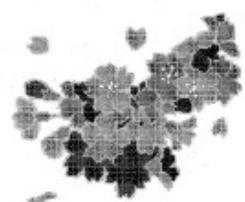
■主な講座テーマ

- | | | | |
|-------|--|------|--|
| ・共通講座 | 火山がつくった伊東の大地と自然 伊東を巡る景観と地理的位置 伊東の今・昔(温泉) ガイドマナー | ・歴史系 | 伊東一族と曾我物語 東海館のうつりかわりと建築様式 三浦按針と伊東のかかわり 東郷記念館の解説 近代の伊東と近代建築 塙太郎の文学と伊東 江戸築城石の石切場 |
| ・自然系 | 春~初夏の城ヶ崎海岸 秋の大室山と城ヶ崎海岸の自然 冬の八幡野と来宮神社 | | |

案内人養成講座講師陣の紹介

◇自然系講師陣

| | |
|-------|------------------|
| 小山 真人 | (静岡大学教授) |
| 齊藤 俊仁 | (富士箱根伊豆自然観察指導員) |
| 佐藤 康 | (富士箱根伊豆自然観察指導員) |
| 渡辺 高助 | (富士箱根伊豆自然観察指導員) |
| 浅田 英勝 | (富士箱根伊豆自然観察指導員) |
| 岩元 喜樹 | (富士箱根伊豆自然観察指導員) |
| 定森 美子 | (富士箱根伊豆自然観察指導員) |
| 宮内 和雄 | (環境カウンセラー 昆虫・植物) |
| 山口 康裕 | (環境カウンセラー 環境・植物) |



◇共通講座講師陣

加藤 達雄 (国際交流協会)
菅沼 兼男 (伊豆自然学校)

◇歴史系講師陣

| | |
|-------|-----------------|
| 建部 恵宣 | (静岡県文化財保護審議委員会) |
| 加藤 清志 | (伊東市文化財審議委員会) |
| 佐藤 真一 | (伊東市文化財審議委員会) |
| 田畠みなお | (伊東市文化財審議委員会) |
| 佐藤 陸郎 | (伊東市史編さん委員会) |
| 牧野 正 | (伊東按針会) |

| | |
|-------|-------------|
| 渡辺 秀夫 | (塙太郎会) |
| 石黒 純子 | (東郷記念館) |
| 鈴木 茂 | (伊東郷土研究会) |
| 金子 浩之 | (伊豆歴史文化研究会) |
| 杉山 宏生 | (伊東市学芸員) |
| 浦志 真孝 | (伊東市学芸員) |



切り取り線

伊東自然・歴史案内人養成講座参加申込書

下記のとおり、伊東自然歴史案内人養成講座に参加を申し込みます。

◆申し込み先◆

伊東市観光課

TEL.0557-36-0111 FAX.0557-38-2867

| | | | | | | | |
|------------|-----------------------------|--|--|-------------------------|----------|-----|----|
| 申込日 | 平成 年 月 日 | | | 受付番号 | | | |
| 受講分野 | 希望する分野に○印を付けてください。 | | | 興味ある項目を具体的に記入してください | | | |
| | 自然系 歴史系 | | | 例…植物、野鳥、昆虫、東海館、按針、塙太郎など | | | |
| スリガナ 氏名 | | | | 性別 | 男・女 | 年齢 | 才 |
| | | | | 生年月日 | 昭和 平成 | 年 月 | 日生 |
| 自宅 | 住所 | | | | | | |
| | 連絡先 | | | 携帯電話 | | | |
| 勤め先 | 名称 | | | | | | |
| | 所在地 | | | 連絡先 | | | |
| 備考 | (自然歴史案内人へのご感想・ご意見をお書きください。) | | | | | | |

自然ガイド認定制度の事例

＜北海道アウトドア資格制度（北海道）＞

資格対象：アウトドア5分野（自然、山岳、ラフティング、カヌー、乗馬）の事業者、ガイド個人
審査方式：個人資格制度は筆記試験と実技試験。優良事業者登録制度：書類審査、現地審査
資格保有者のメリット：ホームページ、パンフレットでの公表・宣伝
規模：合格者数延べ89名（平成14年）

＜秋田県藤里町＞

資格対象：藤里町でガイド活動を目指す個人
審査方式：「自然観察ガイド講習会」受講後試験を受け、合格者のみ認定
資格保有者のメリット：藤里町観光協会に登録
規模：登録者数14名（平成15年）

＜沖縄県自然体験活動指導者養成事業＞

資格対象：沖縄県で自然観察会などにおいて指導者やリーダーとなることを希望する個人
審査方式：「自然体験活動指導者養成講習会」受講修了により「自然体験活動指導者」の資格認定。希望者はCONE（NPO法人自然体験活動推進協議会）の「自然体験活動リーダー・初級」取得可能
資格保有者のメリット：ホームページでの公表・宣伝
規模：講習会参加者数約30名/回（年1回開催、講習会は平成16年で修了予定）

＜富山県自然解説制度＞

資格対象：富山県ナチュラリストを希望する個人
審査方式：「富山県自然保護講座（ナチュラリスト養成コース）」受講修了により「富山県ナチュラリスト」資格認定
資格保有者のメリット：県の主催する自然観察会の自然解説員登録
規模：認定者数延べ540人（平成15年）

＜岐阜県森林案内人制度（岐阜県森林組合連合会）＞

資格対象：富山県ナチュラリストを希望する個人
審査方式：安全、知識に関する所定の講習を修了後「グリーンパイロット」として認定
資格保有者のメリット：グリーンパイロット事務局（岐阜県森林組合連合会）に登録
規模：登録者数177名

ボランティアガイドの事例

■有珠山ガイドの会

- ・洞爺湖温泉地区が避難解除され、ホテル・旅館が営業再開を始めて間もなく、若手観光業者が中心となって「有珠山を知ろう会」が自然発生的に生まれ、訪れた観光客に西山火口や金毘羅火口等をガイドしていたが、2000年11月10日「有珠山ガイドボランティアの会」が組織され、当番割りや写真パネル等の説明資料等も整備してガイド活動を開始した。
- ・本格的な活動は、観光シーズンとなる翌年の2001年5月以降で、毎日ガイドは火山科学館に詰め、訪れる観光客に科学館屋上から火口や被災地の状況を説明した。2002年4月から会の名称を「有珠山ガイドの会」に改めた。現在は、火口周辺を散策し、被害の様子や自然の脅威や噴火当時の体験などを語りながら案内している。

(出典：虻田町史「2000年有珠山噴火その記録と教訓」北海道虻田町)

■島原観光ボランティアガイド（ボランティア養成事業）

(1) 概要

—火山と共に生きる湧水と歴史の国民公園都市、しまばら。—
貴重な歴史・伝統・文化や豊富な湧水、また雲仙の噴火災害と復興についてなど地元のボランティアガイドが案内する。

(2) 火山観光コース

雲仙岳災害記念館→土石流被災家屋保存公園→大野木場砂防未来館→島原まゆやまロード→平成新山ネイチャーセンター→雲仙岳災害記念館

(雲仙岳災害記念館 HP <http://www.udmh.or.jp/>)
(平成新山フィールドミュージアム <http://www.udmh.or.jp/fmkousou/index.html>)

エコツーリズムについて

■国際エコツーリズム年

1999年2月に開催された国際連合総会にて、国連は、2002年を『国際エコツーリズム年』とすることを決定した。この年は、1992年にリオ・デジャネイロ（ブラジル）で開催された「地球サミット」の10周年にあたり、地球の限りある資源を守りながら、人々が豊かに暮らしていくためには、持続可能な開発という考え方が不可欠であるとして、「持続可能な開発」をテーマとして開催されたのが、地球サミットであった。観光は、資源の保全・地域の産業・豊かな地域づくりなどのさまざまな顔をもち、しかも国境を越えて世界中を結ぶグローバルな産業である。国連は、この10年の間に観光分野でどのような努力や取り組みをしてきたのかを振り返る機会として、地球サミット10周年の年を国際エコツーリズム年と定めた。

国際エコツーリズム年を受け、世界でもさまざまな動きが始まったが、制定年の2002年5月には、カナダのケベックで世界エコツーリズムサミットが開催された。このサミットでは、“エコツーリズムは、観光産業全体を通して持続可能な開発の促進に重要な役割を担う”ということが主要なメッセージになっている。

エコツーリズムとは何かについては、このサミットで採択された「ケベック・ワールドエコツーリズムサミット宣言」から以下に要約する。

- 自然と文化遺産の保護に積極的に貢献すること
- 計画、開発、運営において、地元や先住民のコミュニティを参加させ、彼らの生活向上に貢献すること
- 訪問地の自然や文化遺産を訪問者に理解させること

（「2002年国際エコツーリズム年について」 <http://ecotourism.gr.jp/IYEindex.htm>）

（日本エコツーリズム協会 HP <http://ecotourism.gr.jp/index.htm>）

（世界観光機関アジア太平洋事務所 HP <http://www.wto-osaka.org/0001.htm>）

■各機関・団体におけるエコツーリズムの定義

□国際エコツーリズム協会 The International Ecotourism Society

環境が保全されており、地元民の福利に貢献している自然地域へ、責任をもって旅することをエコツーリズムとする。

□日本エコツーリズム協会

エコツーリズムとは、

- ①自然・歴史・文化など地域固有の資源を生かした観光を成立させること
- ②観光によってそれらの資源が損なわれることがないよう、適切な管理に基づく保護・保全をはかること
- ③地域資源の健全な存続による地域経済への波及効果が実現することをねらいとする、資源の保護+観光業の成立+地域振興の融合をめざす観光の考え方である。それにより、旅行者に魅力的な地域資源とのふれあいの機会が永続的に提供され、地域の暮らしが安定し、資源が守られていくことを目的とする。

□エコツーリズム推進会議

エコツーリズムとは、自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任をもつ観光のあり方である。

□日本自然保護協会

旅行者が、生態系や地域文化に悪影響を及ぼすことなく、自然地域を理解し、鑑賞し、楽しむことができるよう、環境に配慮した施設および環境教育が提供され、地域の自然と文化の保護・地域経済に貢献することを目的とした旅行形態

□米国旅行業協会

エコツーリズムとは、環境との調和を重視した旅行、即ち野生の自然そのものや環境を破壊せずに自然や文化を楽しむことである。

□オーストラリアエコツーリズム協会

エコツーリズムとは、環境、文化を理解したり、感謝の念をもって保全にとりくむ気持ちを育む自然体験に主眼をおく、生態系に配慮した観光である。

(文献：(財) 日本自然保護協会「NACS-J エコツーリズム・ガイドライン」1994)

(文献：エコツーリズム推進会議編集「エコツーリズム推進マニュアル」2004)

(エコツーリズムの定義 <http://ecozy.fc2web.com/index.htm>)

エコツーリズムの事例

■西表島

□関係団体：西表島エコツーリズム協会（1996年設立）

□関連施設：西表島エコツーリズムセンターなど

□ツアープログラムなど：

- ・山やジャングルのトレッキングガイド、河川をカヌーで探索するツアー、島周辺の小島へのカヌーによる渡航など（カヌーや遊覧船で川を河口からさかのぼり、マングローブの林を見て、原生林の中にある滝を見にゆくコース、自然を満喫しながらのキャンプ、シュノーケリングなどもりだくさんのコースも設定されている）

□関連情報

- ・1991年に、環境庁によってエコツーリズム資源調査が行われ、その成果をもとに【ヤマナ・カラ・スナ・ピトゥー西表島エコツーリズムガイドブック】が1994年に完成。完成を契機に、『西表をほりおこす会』の有志や当時の『竹富町観光協会青年部』が中心となって『西表島エコツーリズム協会設立準備会』を結成し、1996年5月15日に、日本で初めての『西表島エコツーリズム協会』が設立された。

・西表島におけるエコツーリズム：

西表島は「東洋のガラパゴス」と称されるほど豊かで多様な自然に恵まれた島です。その海も空も山も、島人たちによって長い間大切にされてきました。西表島こそ、自然と人の関わりについて深く知るエコツーリズムにふさわしい場所の一つではないでしょうか。謙虚に自然や人に接することで、旅する人にあまりある贈り物を与えてくれる島。それが西表島なのです。

・協会は、講演会の開催や各部会（山・海・環境・文化）で企画した勉強会・観察会も実施している。

（西表島観光情報サイト <http://www.iriomote.com/>）

（西表島エコツーリズム協会HP <http://www10.ocn.ne.jp/~iea/>）

■屋久島

□関係団体：屋久島環境文化財団、屋久島野外活動総合センターなど

□関連施設：屋久島環境文化村センター、屋久島環境文化研修センターなど

□ツアープログラムなど：

- ・森歩き、山登り、沢登り、カヌー、ダイビングなど自然体験型ツアー。専属のガイドが案内する。

□関連情報

・屋久島観光協会に加盟しているガイド団体は、現在30以上にのぼる。

・屋久島環境文化村センターは、自然と共生する新しい地域づくりをめざす「屋久島環境文化村構想」を推進するための拠点施設で、屋久島の自然や文化に関する総合的な情報の提供、案内、交流の場となっている。

・屋久島環境文化研修センターでは、全国の大人や子どもを対象に屋久島のフィールドを活用した自然観察として毎月「屋久島自然体験セミナー」を開催している。屋久島の自然を体感するだけでなく、「自然と人との共生」に対しての認識を深め、その関わりを感じてもらえる内容としている。

・また、研修センターでは、「ガイドセミナー」として、屋久島の自然や文化、ガイドに関する知識などを学び、島を訪れる人々に屋久島の自然と文化の素晴らしさを伝えていくことができる人を育成するためのセミナーも開催している。

（屋久島環境文化財団 HP <http://www.yakushima.or.jp/>）

（YNCA 屋久島野外活動総合センターHP <http://www.ynac.com/>）

（屋久島観光協会 HP <http://www10.ocn.ne.jp/~yakukan/>）

■ 小笠原諸島

□ ツアープログラムなど：

- ・ホエールウォッチング、ドルフィンスイム&ウォッチング
- ・ジャングルトレッキング
- ・カヌー体験
- ・森歩き、山歩きコース
- ・ナイトツアー：夜の自然の神秘を味あう（光るキノコ・オオコウモリ・星空など）。
- ・戦跡探検：戦時中の陣地跡をたずねる。

□ 関連情報

- ・小笠原村では、平成12年3月に『小笠原諸島観光振興計画』基本計画(2000～2009年)を策定し、この中で「自然との共生」を基本理念に「小笠原諸島のかけがえのない自然をまもる観光の振興『自然共生プロジェクト』をめざす」をキャッチフレーズを掲げ、「小笠原諸島エコツーリズム推進プロジェクト」として、エコツーリズムのための環境づくり、ガイドの育成、エコツアーの企画、学習プログラムの開発・普及策から集客対策、各施設の充実などの施策を示している。

(文献：『小笠原諸島観光振興計画』基本計画(2000～2009年))

(小笠原村 HP <http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/>)

(小笠原チャンネル HP <http://www.ogasawara-channel.com/ogasawara-islands/>)

■ 北海道知床

□ 関係団体：知床財団など

□ 主要施設：知床自然センターなど

□ ツアープログラムなど：

- ・自然体験プログラム：オホーツク海、原生林や沼などの探索コース
- ・フィールド講座：「知床自然保護活動の体験」「知床の森・川・海の生態系について」「環境保全とエゾシカ」（自然解説員等による講座）

□ 関連情報

- ・自然との出会いやふれあい、生態系に関する観察などを重視したプログラムが組まれている。

- ・知床財団では、次のような教育研修・国立公園管理プログラムを目指している。

自然の保全に関わる人材を育てる

ヒグマ対策の人材育成をはじめとする野生動物の保護管理に関する研修・実習プログラム

知床の自然保護活動についての体験型教育プログラム

地域向け環境教育プログラム

環境教育や自然保護に関するワークショップ・講習会

- ・知床ボランティアレンジャー：活動は、野生動物や公園利用者の調査補助、パトロール、看板設置や森づくり作業など職員の業務をサポートする実践的なものが中心。そのほか、ボランティアが自主的に製作・実施する紙芝居・絵本なども、知床の自然や野生動物との付き合い方を広く紹介する大切な普及活動となっている。毎年1～2回実施するボランティア養成講習会（2泊3日）に参加後、任意で登録。

(知床財団 HP http://www.shiretoko.or.jp/04zaidan/zaidan_main.htm)

(知床自然センターHP <http://www.shiretoko.or.jp/>)

火山学習を取り入れた観光プログラムの事例



城ヶ崎海岸地質トレッキング



海洋公園にある自破碎溶岩



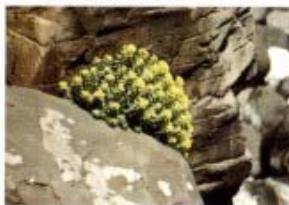
かんのん浜のポットホール



びしゃごの波立ち



せいじやあな溶岩トンネル



岩に根付いたイワタイゲキ



はしだての瀬瀬まり大漣小漣

黒潮に洗われた 城ヶ崎海岸の溶岩地形探訪

○ピクニカルコースでは『かどかけ溶岩トンネル』『偽枕状(にせまくらじょう)溶岩』『自破碎(じはさい)溶岩』の不思議な景観が体験できます。

○自然研究路には天然記念物の『かんのん浜ポットホール』があり、溶岩トンネルの重層構造や『かさご根柱状節理』の美観が眺望できます。

火山ウォッチング

大室山火山と 大室山リトルキャニオン探訪

○山頂火口で溶岩に溶け込んでいる火山弾を見ることができます。

○さくらの里で『溶岩トンネル』と『スコリアラフト』を観察します。

○オークランド別荘地で『大室山火山灰(テフラ)』を調べ、噴火のシミュレーションをします。

○山麓の露頭で『新島・神津島の白色火山灰』が観察できます。



大室山火山スコリア丘



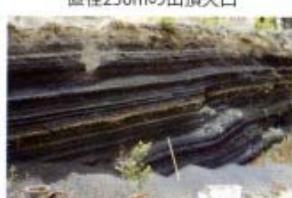
直径250mの山頂火口



大室山西方にそびえる矢筈山



さくらの里のスコリアラフト



オークランド別荘地の大室山テフラ



噴火年代を特定した大室山神代木

ネイチャーウォッキングは
 ○探求のおもしろさ(SCIENCE)
 ○ふれあいの楽しさ(ADVENTURE)
 ○景観の心地よさ(FANTASY)
 の体験をめざします



斎藤 優仁
NATURE GUIDE
NACS-J自然観察指導員

スペシャルプログラム

| | プログラム名 | 日程(時間) | 対象・人数 | 参加費 | 内 容 |
|---|--|--|--------------|------------------------------------|--|
| A | 《3時間(短縮2時間)コース》 ピクニカルコースダイジェスト ボラ納屋発→海洋公園着 海洋公園発→ボラ納屋着 | (徒歩) 9:00~12:00 12:30~15:30 | 40名 小学生以上 | 大人 1,000円 ・ 小学生 500円 | 【ピクニカルコース探訪】 かどかけ溶岩トンネル、かどかけ偽枕状溶岩、舟形溶岩トンネル、穴口溶岩トンネル、ひら根潮流まり、ひら根築城石、びしゃご波立ち、海洋公園自破碎溶岩 |
| B | 《3時間(短縮2時間)コース》 自然研究路ダイジェスト 橋だて駐車場発→海洋公園着 海洋公園発→橋だて駐車場着 | (徒歩) 9:00~12:00 12:30~15:30 | 40名 小学生以上 | 大人 1,000円 ・ 小学生 500円 | 【自然研究路探訪】 はしだて大淀・小淀、かさご根柱状節理、こさいつな海蝕洞穴、せいじやかな溶岩トンネル、てんまじり溶岩トンネル群、いかいが根巨石、かんのん浜ボットホール、にちょう大断層他 |
| C | 《3時間(短縮2時間)コース》 自然・ピクニカルダイジェスト いがいが根発→門脇駐車場着 門脇駐車場発→いがいが根着 | (徒歩) 9:00~12:00 12:30~15:30 | 40名 小学生以上 | 大人 1,000円 ・ 小学生 500円 | いかいが根巨石、かんらん石觀察、かんのん浜ボットホール、にちょう大断層、だせんば溶岩トンネル、灯明台、姐岩、海洋公園自破碎溶岩、びしゃご波立ち、穴口溶岩トンネル、門脇灯台、門脇吊り橋、舟形溶岩トンネル他 |
| D | 《3時間(短縮2時間)コース》 大室山火山ウォッキング 大室山リフト前駐車場発 →大室山リフト前駐車場着 | (徒歩) 9:00~12:00 12:30~15:30 | 40名 小学生以上 | 大人 1,000円 ・ 小学生 500円 | 大室山火山スコリア丘、山頂溶結火山弾、山頂火口岩脈、溶岩湖跡、お鉢巡り、360度パノラマ、さくらの里スコリアラフト、穴の原溶岩トンネル、大室山火山灰モデル露頭、池溶岩トンネル、岩室山、新島・神津島白色火山灰他 |
| E | 《6時間プログラム》 大室山+城ヶ崎ダイジェスト 大室山リフト前駐車場発 →門脇駐車場着 | 《健脚向》 (徒歩) 9:00~15:00 《昼食購入可》 | 40名 小学生以上 | 大人 2,000円 ・ 小学生 1,000円 | 【C+Dの内容】 大室山火山スコリア丘、穴の原溶岩トンネル、さくらの里スコリアラフト、大室山火山灰モデル露頭、いかいが根巨石、かんのん浜ボットホール、海洋公園自破碎溶岩、門脇灯台他 |
| F | 《6時間プログラム》 単成火山鉱物岩石探集コース 大室山リフト前駐車場発 →大室山リフト前駐車場着 | (マイカー利用) 9:00~15:00 《昼食購入可》 | 20名 小学生以上 | 大人 2,000円 ・ 小学生 1,000円 | 【岩石・鉱物探集の旅】 ○大室溶岩(カンラン石)、奥野石英脈探集 ○一碧ダイヤ(高温石英)探集 ○天城溶岩(カクセン石・キ石)探集 ○三野原海岸岩脈(チョウ石)探集 |

【実施要項】 《休業日:無》

- (1) 参加者計5名以上から実施し、20名以上の団体は1割引料金で実施します。
 - (2) Fはマイカー利用を原則とし、どのコースも雨天、濃霧の際は中止または延期とします。
 - (3) E・F実施日はA~Dは休止しますが、日程が合えば合流可能とします。
 - (4) 大型バス利用の参加者には乗降車地点までスタッフが送迎に向かいます。(要事前連絡)
- *特別な装備は必要ありませんが、舗装されていない遊歩道や坂道を歩きますのでハイヒールでは参加できません。歩きやすい靴など、野外活動のしやすい服装でご参加下さい。

●お問い合わせ・お申し込み先●

伊豆城ヶ崎海岸・大室山火山周辺ネイチャーガイド

城ヶ崎ネイチャースクール

〒414-0044 伊東市川奈532-1 TEL 090-1629-4940 FAX 0557-45-0477

(代表)斎藤 優仁

●宿泊先